

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 日 時 平成22年11月〇日（〇）
2. 場 所 広島市立〇〇中学校
3. 学 年 第2学年〇組
4. 内 容 生活の自立と衣食住 （新課程：B食生活と自立 （3）ウ）
5. 題 材 わたしたちのより豊かな食生活

6. 題材設定の理由

○ 題材観

近年、食育が充実し、中でも朝食を摂ることの大切さが徹底され、朝食を摂って登校する生徒がほとんどである。しかし、その内容をみると主食のみの個食や、菓子類を食べてくる生徒も少なくない。ただ、好きなものだけ食べればいい、空腹でなければいいという考え方ではなく、生徒が自分の食生活に関心を持ち、問題点を改善する工夫や、食生活をさらに豊かにするための工夫を考え、食生活をよりよくしようとする意欲と態度を育成することが不可欠である。

本校が所属する広島市中学校技術・家庭科研究会（家庭）の第〇ブロックにおいても、朝食を毎日食べる生徒が90%近くいるにも関わらず、内容をみてもみると3食の内、朝食で野菜を食べない生徒が全体の64%と最も値が高い。そこで、バランスよく食べる大切さを全員が食べる給食をふり返ることにより気づき、自分の食生活をよりよくしようとする関心と意欲を高めたい。

○ 生徒観

生徒は明るく素直であるが、自分の意見をお互いに交流しあうことは苦手である。すでに終了した調理実習は男女4人班とし、毎回メンバーを変え、誰とでもコミュニケーションがとれるように取り組んでみた。

また、朝食を摂ることは習慣化しているものの、バランスよく食べることについては定着していないと考える。

○ 指導観

本校の技術・家庭科においては、第3学年では地域の幼稚園との交流をしているが、その他の学年ではゲストティーチャーを招くなどの交流はない。そこで、学校栄養職員をゲストティーチャーとして招くことにより、給食の先生という生徒にとって身近な存在の方から、より専門的な知識が学べる機会を設け、バランスよく食べる大切さを再認識させ、生徒自身の実生活に役立たせたい。

また、全員が毎日食べる給食を導入とすることで、交流しあうことが苦手な生徒も、意見を出しやすいのではないかと考える。

7. 題材の目標

食生活に関心を持ち、課題を持って日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる。
(新課程：B食生活と自立 (3)ウ)

8. 指導計画 (3時間扱い)

(関)：関心・意欲・態度 (工)：工夫し創造する力 (技)：技能 (知)：知識・理解

指導内容	時間	学 習 指 導 過 程			
		課題づくり	計画の立案	実 践	評 価
日常食の見直し	1	・バランスよく食 べることの大切 さを再確認しよ う。	・自分の食べた朝 食について見直 そう。	・食生活の課題点 を見つけよう。	・栄養のバランスに ついて関心を持っ て課題を見つけよ うとしている。 (関)
(本時2/3)	1	・改善策をまとめ よう。	・グループでわか りやすい発表方 法を考えよう。	・グループごとに 発表しよう。	・グループで意見を まとめ改善策を工 夫している。(工)
家族のための 食事作り	1	・栄養のバランス のとれた献立を 立てよう。	・献立を考え、調 理計画を立てよ う。	(冬休み中) ・実践し、レポー トにまとめよ う。	・バランスのとれた 1食分の献立を立 てることができる (知) ・調理をして、レポ ートにまとめるこ とができる。 (工)(技)

9. 本時の目標

- ① グループで日常食の見直しをし、改善策を工夫することができる。
- ② 学校栄養職員のアドバイスを聞くことによって、栄養のバランスがとれた食事について関心を持つことができる。

10. 本時の評価規準

- ① 生活を工夫し創造する能力
 - ・ グループで改善策を工夫することができる。
- ② 生活や技術への関心・意欲・態度
 - ・ 栄養のバランスがとれた食事について関心を持って考えることができる。

11. 展開

過程	学習活動	学習活動支援	評価規準(●)や方法(*)	教材 教具
課題づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーを迎える。 ○前時のバランスよく食べることの大切さについて振り返る。 ○グループごとの課題点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学校栄養職員を紹介する。 ・前時に使用した写真等を提示し思い出させる。 ・グループごとに課題点を書いたプリントを掲示し確認させる。 		ワークシート 写真等 課題点のプリント
計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> ○改善策をまとめる。 ○グループでわかりやすい発表方法を考える。 ○画用紙に改善策をイラストで描き、発表原稿をワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べてきたこと、聞いてきたことをグループでまとめさせる。 ・改善策について、工夫やその理由が発表できるよう考えさせる。 ・特に発表原稿は、くわしく具体的に書くようゲストティーチャーと共に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食生活の課題点と改善策の工夫を考えて、まとめようとしている。 (工夫・創造) *行動観察 	朝食品目チェック表 ワークシート 画用紙 マジック
実践	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに自分達の食生活の課題点と改善策をまとめ、発表する。 		ワークシート
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーからアドバイスをもらう。 ○本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の講評とアドバイスを聞く。 ・他のグループの発表やゲストティーチャーのアドバイスも含め学習を振り返り確認する。 ・次回は献立を立てることを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●栄養のバランスがとれた食事について関心を持ったか。 (関心・意欲・態度) *自己評価表の記入状況 	自己評価表